

週間情報

No. **0833**

発行：全国消防長会 企画部 企画課 東京都港区虎ノ門 2-9-16 TEL03-4500-6622 URL: <https://www.fcj.gr.jp/>

目次

※ 目次の項目をクリックすると、該当ページへ移動します。

両 会 の 動 き

- ◆ 第54回全国消防救助技術大会を開催

[一般財団法人全国消防協会](#)

- ◆ 消防現勢の活用術

[全国消防長会](#)

- ◆ IDAYインターンシップを開催

[愛媛県消防長会（愛媛）](#)

消 防 本 部 の 動 き

▽その他

- ◆ 「2026夏の防災スクール」を開催

[湖南広域消防局（滋賀）](#)

- ◆ 熱中症予防と救急車の適正利用に関する啓発活動を実施

[松山市消防局（愛媛）](#)

- ◆ カラーガーズ隊発足40周年記念「都民と消防のふれあいコンサート」を実施

[東京消防庁（東京）](#)

- ◆ 教職員および保育士を対象としたJPTECファーストレスポnderコース（講習会）を開催

[中津川市消防本部（岐阜）](#)

- ◆ 民間の飲食店と連携した火災予防広報活動の実施

[袋井市森町広域行政組合袋井消防本部（静岡）](#)

国 等 の 動 き

▽消防庁通知等

- ◆ 「救急の日」及び「救急医療週間」の実施について（依頼）

[（消防救第280号、厚生労働省発医政0813第7号、令和8年8月13日）](#)

- ◆ 「特定非常災害の被害者の権利利益の保全等を図るための特別措置に関する法律第三条第二項の規定に基づき、同条第一項に規定する延長の措置の対象となる特定権利利益、対象者及び延長後の満了日を定める件」の公布・施行について

[（消防予第370号、令和8年8月14日）](#)

▽情報提供

- ◆ 日本CBRNE学会／NBCR対策推進機構共同主催シンポジウムの開催

[主催：特定非営利活動法人NBCR対策推進機構、一般社団法人日本CBRNE学会](#)
[後援：全国消防長会](#)

- ◆ 令和8年度「屋外タンク実務担当者講習会」開催案内

[危険物保安技術協会](#)

- ◆ 令和8年度予防技術検定の実施について

[一般財団法人消防試験研究センター](#)

[目次に戻る](#)

両会の動き

◆ 第54回全国消防救助技術大会を開催

一般財団法人全国消防協会

令和8年8月22日（土）、新潟県新潟市（陸上会場：鳥屋野潟南西部臨時駐車場、水上会場：西海岸公園市営プール）において、大沢消防庁長官、沖山公益財団法人日本消防協会会長（代理：三輪同協会理事長）、花角新潟県知事（代理：笠島新潟県副知事）をはじめ多くの来賓をお迎えし、第54回全国消防救助技術大会を開催しました。

開会式は、陸上会場で行われ、出場隊員が力強く入場し、阿部新潟市消防局長の開会宣言、消防殉職者に対する黙とうの後、国旗、大会旗の掲揚が行われました。

また、市川大会会長（当協会会長）、中原新潟市長のあいさつ、来賓祝辞の後、出場隊員を代表して新潟市消防局の土田隊員が宣誓を行いました。

本大会は、「^{たす}ける～ともに、まだ見ぬ新時代へ～」のスローガンのもと、各地区支部から選抜された約900人の隊員が出場し、12種目（陸上の部7種目、水上の部5種目）の訓練と陸上・水上双方の技術訓練が行われました。

各種目の訓練と技術訓練では、出場隊員がこれまで鍛え抜いた技術・精神力を遺憾なく発揮し、会場からは大声援と惜しめない拍手が送られました。

陸上会場で行われた閉会式では、各種目の訓練と技術訓練の代表受賞者への表彰に続き、市川大会会長から講評が行われました。

その後、阿部新潟市消防局長から次期開催主管消防本部の山本大阪市消防局長に大会旗が引き継がれ、最後に、阿部新潟市消防局長の閉会宣言により幕を閉じました。



【陸上の部】



【水上の部】

※ 大会の様子については、当協会機関誌「ほのお」9号（令和8年9月25日発行）に掲載予定です。

[目次に戻る](#)

Vol
2

消防現勢の活用術

業務で気になる数字を、すぐ確認できます！

消防現勢は、いろいろな業務で役立つデータ集です。

根拠づくりや現状の整理、今後の取り組み検討に、ご活用ください。

こんな場面で役立ちます！



会議・
説明資料に

最新の統計データを使用して、説得力のある資料づくりをサポートします。

活用例 各種会議・防火防災の説明資料など



現状分析・
比較に

前年との比較や、全国の市区町村との比較が簡単に行えます。

活用例 施策立案の基礎資料など



地域特性の
把握に

人口や消防力など、地域の特性を多角的に見ることができます。

活用例 エリアごとの課題整理など



新人教育・
研修に

新人教育や内部研修で、消防行政の全体像を伝えるときに役立ちます。

活用例 新人研修・業務マニュアルなど



ちょっと調べたいとき、比べたいとき、説明したいときに。
消防現勢を、ぜひご活用ください！

全国消防長会の情報管理システムを活用すれば、**詳細なデータの抽出が可能**です！

※) 情報管理システムの「操作マニュアル」―「操作説明書 14.確定データ出力」を参照



「こんな風に使ったよ！」
を教えてください！



お寄せいただいた事例は、
今後ご紹介させていただく
場合があります。

消防現勢を実際に活用した事例がございましたら、下記までお寄せください。

全国消防長会 企画部情報管理課 鍋谷 TEL : 03-4500-6622(代表) Email : joho-sys@fcjaj.gr.jp

[目次に戻る](#)

◆ 1 DAYインターンシップを開催

愛媛県消防長会（愛媛）

愛媛県消防長会では、令和8年8月5日（水）、愛媛県消防学校および県内消防本部において、1 DAYインターンシップを開催しました。

これは、学生の職業意識の向上や消防業務に対する理解を深めるとともに、人材確保につなげることを目的として実施したもので、当日は県内全体で68人が参加しました。

午前中は、「消防職の説明」や「先輩講話」を行った後、「昼食体験」と初任科生の訓練の様子を見学しました。

また、午後からは、消防・救助・救急活動を想定した実践的な訓練に、参加者全員が取り組みました。

参加者からは、「消防職員を目指す覚悟が固まった」、「消防職員になる自分の将来が想像できた」などの感想があり、満足度の高いインターンシップとなりました。

今後も消防業務を体験する機会を提供し、消防職の魅力を発信するとともに、人材確保につなげてまいります。



【インターンシップの様子】



【終了後の記念撮影】

消防本部の動き

▽その他

◆ 「2026夏の防災スクール」を開催

湖南広域消防局（滋賀）

湖南広域消防局では、令和8年7月22日（水）、夏の災害予防啓発運動の一環として、学童保育所において「2026夏の防災スクール」を開催しました。

このイベントは、夏場に増加する事故の防止を目的として実施したものです。

当日は、子どもたちが「安全な水遊び・花火遊び」と「防火防災かるた大会」の2つのグループに分かれ、楽しみながら防災について学びました。

花火体験では、初めて体験する子どもも多く、緊張した面持ちで消防職員と一緒に火を付け、正しい取り扱い方法を身につけました。

また、かるた大会では、夏の暑さを吹き飛ばすほどの熱戦が繰り広げられ、会場は大いに盛り上がりました。

思い出に残る楽しい夏休みを過ごせるよう、これからも防災の輪を広げてまいります。



【花火遊びの様子】



【かるた大会の様子】

[目次に戻る](#)

◆ 熱中症予防と救急車の適正利用に関する啓発活動を実施

松山市消防局（愛媛）

松山市消防局では、令和8年7月26日（日）、市内のショッピングセンターにおいて、熱中症予防と救急車の適正利用に関する啓発活動を実施しました。

この取り組みは、熱中症による救急出動が増加する時期に合わせ、来店客へ熱中症対策や暑熱順化の重要性を広く周知するとともに、救急車の適正利用を呼びかけることを目的として実施したものです。

当日は、マイナ救急への理解と協力を呼びかけるとともに、救急車の適正利用についても啓発しました。

今後も救急需要の増加などの課題に対応し、市民の安全・安心の確保に努めてまいります。



【啓発活動の様子】

（左：松山市消防局キャラクター「はっぴーカバー君」）

（右：救急車展示）

◆ カラーガーズ隊発足40周年記念「都民と消防のふれあいコンサート」を実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁音楽隊は、令和8年7月29日（水）に文京シビックホール、同年8月1日（土）にJ：COMホール八王子において、「都民と消防のふれあいコンサート」を開催しました。

これは、当庁のカラーガーズ隊発足40周年を記念して実施したものです。

両公演では、作曲家の八木澤教司氏による記念楽曲「ファンファーレ 凜華の旗（りんかののはた）」をカラーガーズ隊の演技とともに披露しました。

また、ステージドリルを披露したほか、歴代カラーガーズ隊長や現役隊員へのインタビューなど、さまざまなプログラムを実施し、カラーガーズ隊の発足40周年を祝いました。

記念楽曲は、作曲者から消防音楽隊への楽譜の提供が許可されています。

楽曲を使用して演奏を希望される場合は、東京消防庁音楽隊（03-3221-0119）までお問い合わせください。

今後も、音楽隊とカラーガーズ隊は、広報活動の一層の充実を図ってまいります。



【カラーガーズ隊演技（凜華の旗）の様子】



【ステージドリルの様子】

◆ 教職員および保育士を対象としたJPTECファーストレスポnderコース（講習会）を開催

中津川市消防本部（岐阜）

中津川市消防本部では、令和8年8月4日（火）、中消防署において、教職員および保育士を対象としたJPTECファーストレスポnderコース（講習会）を開催しました。

このコースは、保育施設や学校で子どもが重篤な外傷を負った際、発見から救急隊への引き継ぎまでに必要な知識と基本手技を学ぶことを目的として実施したものです。

同コースは、令和6年に警察官を対象に実施しており、教職員および保育士を対象に実施するのは今回が初めてです。

今後も、保育・学校現場における安全管理意識の向上を図るため、教育委員会と連携した講習会を継続してまいります。



【講習会の様子】



【終了後の記念撮影】

◆ 民間の飲食店と連携した火災予防広報活動の実施

袋井市森町広域行政組合袋井消防本部（静岡）

袋井市森町広域行政組合袋井消防本部では、令和8年8月1日（土）から8月8日（土）までの間、管内の飲食店「ステーキ&ハンバーグT A O」にご協力いただき、同店舗において火災予防広報活動を実施しました。

これは、料理に乗った鉄板の油跳ねを防ぐためのペーパーに「家庭でできる火災予防」のポイントと「まちがいさがし」を描き、料理を注文してから提供されるまでの待ち時間を利用して、楽しみながら火災予防に触れてもらうことを目的として実施したものです。

また、店舗の外には「火の用心」ののぼり旗も設置しました。

今後も、民間事業所と連携した広報を展開し、火災予防への関心が高まるよう努めるとともに、防火意識の高揚を図ってまいります。



【広報活動の様子】

国等の動き

▽消防庁通知等

◆ 「救急の日」及び「救急医療週間」の実施について（依頼）

（消防救第280号、厚生労働省発医政0813第7号、令和8年8月13日）

消防庁長官、厚生労働省事務次官から各都道府県知事あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

標記については、かねてより種々御尽力をいただいているところですが、本年度も「救急の日」を含む一週間を「救急医療週間」として、別添（別添省略）実施要綱に基づき、救急医療の普及、啓発活動を全国的に実施することとしましたので、格段のご協力をお願いします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/kyuuki_260813.pdf）に掲載されています。

（連絡先）消防庁 救急企画室 救急連携係
担当：辻課長補佐、松田係長、出口事務官
Tel: 03-5253-7529
Mail: kyukyukikaku-kyukyurenkei@soumu.go.jp

◆ 「特定非常災害の被害者の権利利益の保全等を図るための特別措置に関する法律第三条第二項の規定に基づき、同条第一項に規定する延長の措置の対象となる特定権利利益、対象者及び延長後の満了日を定める件」の公布・施行について

（消防予第370号、令和8年8月14日）

消防庁次長から各都道府県消防防災主管部長、各消防本部消防長、非常備町村消防防災主管部局長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

特定非常災害の被害者の権利利益の保全等を図るための特別措置に関する法律第三条第二項の規定に基づき、同条第一項に規定する延長の措置の対象となる特定権利利益、対象者及び延長後の満了日を定める件（令和8年消防庁告示第12号）が、令和8年8月14日に公布・施行されました。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/e0d453ac8297ad9c778effdcbc86e6140757f726.pdf>）に掲載されています。

（連絡先）
消防庁予防課
担当：菅村課長補佐、菅
TEL 03-5253-7523
MAIL yobo@soumu.go.jp

◆ 日本CBRNE学会／NBCR対策推進機構共同主催シンポジウムの開催

主催：特定非営利活動法人NBCR対策推進機構、一般社団法人日本CBRNE学会

後援：全国消防長会

【シンポジウムテーマ】

生物（B）災害－再興感染症と多剤耐性菌－ 再興感染症の脅威とその対策

【シンポジウム趣旨】

再興感染症として薬剤耐性（AMR）の発生は医療機関では大きな問題になってきています。災害時の医療は、医療を必要とする人々（需要）と医療を提供する人々や必要となる物品（供給）のバランスが崩れた状態といわれています。AMRの分野では、抗菌薬の供給不足や新規抗菌薬の研究開発の遅れが平時から発生しています。この状況下で、地震や台風などによって引き起こされる大災害が同時期あるいは同時多発的に発生した場合、AMRあるいは抗菌薬の供給不足はさらに深刻になり、AMRそのものが複合災害に繋がる恐れもあります。本シンポジウムは対象者として消防職員、自衛隊員、防災専門家、医療従事者の専門家が一同に会する場において情報を共有するとともに、関連企業や一般市民にも普及啓発をしてまいります。

1 実施日

令和8年9月27日（日）10：00～16：50

2 会場（対面およびWeb（オンデマンド）配信）

国立オリンピック記念青少年総合センター（小田急線「参宮橋駅」より徒歩7分）

3 主催

特定非営利活動法人NBCR対策推進機構、一般社団法人日本CBRNE学会共同主催

4 対象者

消防職員、防災専門家、医療従事者、自衛隊員、警察、大学関係者などの専門家に加えて、広く興味ある企業、一般市民を対象とする。

5 申し込み方法

シンポジウムに参加を希望される方はリンク先に必要事項をご記入いただき登録してください。またはお問い合わせ先にご連絡ください。

6 参加費（事前登録をされた消防庁関係者は会員料金といたします）

会員5,000円、非会員6,000円（会場参加、当日の昼食、お茶、お菓子代を含む。）

会員5,000円、非会員6,000円（WEB／オンデマンド参加）

7 プログラム

午前の部（10：00～11：35）※ 会場受付9：30～

(1) 開会挨拶（10：00～10：05）

石井正三（日本CBRNE学会理事長）

(2) 講演1（10：10～10：55）

青野茂昭

（国土舘大学体育学部スポーツ医科学科・救急システム研究科救急システム専攻、教授）
「病院内再興感染症対策」

(3) 講演2（11：00～11：45）

加来浩器（防衛医科大学校防衛医学研究センター長、教授）

「新興・再興感染症の基礎」

午後の部（13：15～16：50）

(4) 講演3（13：15～14：00）

長谷川学（京都大学大学院医学研究科ヘルスセキュリティセンター、教授）

「新興・再興感染症の脅威と対策」

(5) 講演4（14：05～14：50）

佐々木広一（広島国際大学保健医療学部教授）

「救急活動における環境衛生 ―救急活動での二次感染防止と環境衛生の重要性―」

(6) 講演5（14：55～15：40）

木下学（防衛医科大学免疫・微生物学講座教授）

「抗生剤に依らない免疫機能強化策」

(7) 総合討論（15：45～16：40）

座長 石井正三

(8) 閉会挨拶（16：40～16：50）

石原雅之（NBCR対策推進機構理事長）

8 その他

日本CBRNE学会／NBCR対策推進機構共催シンポジウムに参加される方は次のいずれかの方法にてお申し込みをお願いいたします。

（今回から新たにお申し込みシステムを導入しました。）

【お申し込みリンク】

<https://nbcrcbrne.peatix.com/view>

① お申し込み&決済システムクレジット払い、コンビニ払いも可能です。

② メール・FAXにて次の必要事項をお送りください。

（氏名、E-mailアドレス、電話番号、会員種別（会員・非会員）、シンポジウム（会場参加・WEB参加・オンデマンド参加））

※ お申し込み後、事前にお振込みをいただく口座番号をお知らせいたします。

【お問い合わせ先】

事務局：NBCR対策推進機構

東京都港区赤坂4-9-25 新東洋赤坂ビル3階

担当：岡部・遠藤・木村・石原

TEL:03-5829-6187 FAX:03-5829-6197

HP：<https://nbcrc-taisaku.com> E-mail：info@nbcrc-taisaku.com

◆ 令和8年度「屋外タンク実務担当者講習会」開催案内

危険物保安技術協会

昭和52年（1977年）の消防法改正により、特定屋外タンク貯蔵所の基準が大幅に整備され、開放点検などが義務付けられ既に50年近くが経過しました。この間、地震災害や設備の経年劣化などが要因となり、火災、爆発、流出などの事故が何度となく発生しましたが、その都度、これらの事故を教訓とし屋外貯蔵タンクの技術基準が見直され、安全対策などの整備が進められてきました。また、近年、高度経済成長期に建設された屋外タンク貯蔵所などは、老朽化が進み維持管理のあり方が課題となっており、さらにソフト面では、保安の確保や技術の伝承が重要な課題となっております。本講習会は、これらの課題を踏まえ、技術基準の重要性と安全を重視した維持管理のあり方に焦点を当て、事例などに基づいた実務的な要素を取り入れ、適切な審査などに関する知識・技術の習得を目的とし、下記のとおり開催いたします。本年度は、東京で会場講習を開催いたしますとともに、会場でのご受講が困難な方のためにオンライン講習（ライブ配信およびオンデマンド配信）を行います。

- 1 主催
危険物保安技術協会
- 2 協賛
全国消防長会、石油連盟、石油化学工業協会、一般社団法人日本非破壊検査工業会
- 3 開催日時および場所など
 - (1) 会場講習 令和8年11月20日（金） 10時00分から17時00分まで
受付開始 9時40分（受付開始前には会場にお入りいただけません）
危険物保安技術協会 会議室
定員43人（席数に限りがあることから、同一事業所・機関からのお申し込みは2人までとさせていただきます。3人以上お申込みいただいた場合は、オンライン講習（ライブ配信）に振り替えさせていただきます）
 - (2) オンライン講習（ライブ配信）
令和8年11月20日（金） 10時00分から17時00分まで
定員500人
 - (3) オンライン講習（オンデマンド配信）
令和8年12月14日（月） 10時00分から同月16日（水）23時59分まで
定員 無制限
- 4 受講対象者
主に、屋外タンク貯蔵所を保有する事業所、タンクメーカー、非破壊検査会社および消防機関などの屋外タンク貯蔵所に係る業務に携わる方を対象としていますが、特に限定はいたしません。
- 5 受講料
15,400円（消費税10% 1,400円含む）
※会場講習とオンライン講習（ライブ配信・オンデマンド配信）は同額です。
- 6 開催プログラム

内 容	講 師
(1) 屋外貯蔵タンクに係る基準の概要	危険物保安技術協会 タンク審査部
(2) コーティング上からの底部溶接線検査とその現状	
(3) 屋外貯蔵タンクに係る技術援助について	
(4) 屋外貯蔵タンクの基礎・地盤の維持管理 ～技術基準適合維持と維持管理に係る 留意事項について～	危険物保安技術協会 土木審査部
(5) 屋外タンク貯蔵所の火災事故事例と原因	危険物保安技術協会 事故防止調査研修センター

[目次に戻る](#)

7 申し込み手続き

当協会のホームページ (<https://www.khk-syoubou.or.jp/>) の「セミナー・講習会」から受講を希望されるものを選択し、お申込み下さい。

申込期間は、9月1日（火）から11月6日（金）までですが、定員に達し次第受付終了といたします。

オンライン講習（オンデマンド配信）は11月30日（月）まで受け付けいたします。

8 個人情報の取扱い

当協会は、取得した個人情報をお問合せの回答および講習会などの開催案内、その他これらの業務に附帯する業務のみに利用いたします。

連絡先

〒105-0001

東京都港区虎ノ門 4-3-13 ヒューリック神谷町ビル1階
危険物保安技術協会 研修事務局

E-mail: kensyu@khk-syoubou.or.jp

◆ 令和8年度予防技術検定の実施について

一般財団法人消防試験研究センター

令和8年度の予防技術検定を、次のとおり実施します。

本検定の受検申請方法は、電子申請のみです。また、受検案内についてもホームページへの掲載のみとなりますので、詳細は当センターのホームページをご確認ください。

1 検定実施年月日

令和8年12月6日（日）午後2時00分から午後4時30分

2 受検申請期間

令和8年7月8日（水）から8月31日（月）まで

3 検定区分

防火査察・消防用設備等・危険物

4 受検申請方法

当センターホームページから電子申請 (<https://www.shoubo-shiken.or.jp>)

5 受検案内

当センターホームページに掲載

6 合格発表日

令和9年1月8日（金）（予定）

7 その他

団体申請には、消防本部ごとの「団体コード」が必要です。申請の際、代表者の方は次の連絡先までお問合せください。



【予防技術検定ホームページの二次元コード】

【問い合わせ先】

一般財団法人 消防試験研究センター

予防技術検定担当

TEL 03-3597-0220（代表）

（9:00～17:00（土日祝を除く））

[目次に戻る](#)

消防本部の“今”を「週間情報」へ

～身近な出来事、旬な情報を週間情報で発信しませんか？～

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

・原則毎週刊行しており、速報性のある広報となっています。

【留意事項】

・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練などを中心に掲載しています。

・文章は、200～400文字程度、写真は、1～2枚。

・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

【問合せ】：「週間情報」担当・企画課 中西 TEL:03-4500-6622

原稿データは、【専用投稿フォーム】 <https://forms.office.com/r/GxWJXpdc03>
に投稿願います。



機関誌「ほのお」掲載記事募集中

全国の仲間にも共有したい取り組みとその情熱を「ほのお」へお寄せください

全国消防協会では、機関誌「ほのお」への掲載記事を募集しています。

・トップ・セカンド記事 完成原稿は不要 掲載希望内容の概要（企画案）を提出

・消防ワイド 写真中心の自由投稿 文章:Word100字程度／写真:JPEG1枚

【問合せ】：企画課・吉田 TEL 03-4500-6622

トップ・セカンド記事:kikakeikaku@fcj.jp 消防ワイド:honoo@ffaj-shobo.or.jp

※添付 5MB 超は分割送信



消防デジタルイラスト募集中!!!

～あなたのイラストが全国の消防業務を支える力となります～

○ あなたのイラストが、全国の消防本部で、広報・啓発・訓練・教材作成など、消防業務の様々な場面で活用されます。

○ 全国消防長会ホームページの「令和版 消防デジタルイラスト集」に掲載されます。

○ ホームページ掲載時には、「〇〇消防本部〇〇作」と作者名を明記し、あなたの名前と作品が、全国に紹介されます。

詳細は、全国消防長会ホームページを検索!!!



全国消防長会・一般財団法人全国消防協会「公式 X」を開設!

～あなたのもとへ直接、素早く情報をお届け～

○ 全国消防長会・一般財団法人全国消防協会「公式 X」を開設しました。フォローをお願いします。

令和8年度から定期刊行物（会報・ほのお・週間情報 ※週間情報は既に公開中）をホームページ上で公開することに伴い、「X」を通じて掲載情報などを素早くお届けします。

フォロー（アカウント登録）していただくことにより、各消防本部の先進的な取り組みや本会の取り組みなど多くの情報をお届けいたします。



フォローはこちら



X(旧 Twitter) 登録用二次元コード

